

Symantec™ ApplicationHA リ リースノート

VMware 上の Windows

6.1

Symantec™ ApplicationHA リリースノート

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

製品バージョン: 6.1

マニュアルバージョン: 6.1 Rev 0

法的通知と登録商標

Copyright © 2014 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、Checkmark ロゴ、Veritas、Veritas Storage Foundation、CommandCentral、NetBackup、Enterprise Vault、LiveUpdate は、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書に記載の製品は、ライセンスに基づいて配布され、使用、コピー、配布、逆コンパイル、リバースエンジニアリングはそのライセンスによって制限されます。本書のいかなる部分も、Symantec Corporation とそのライセンサーの書面による事前の許可なく、いかなる形式、方法であっても複製することはできません。

本書は「現状有姿のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性、不侵害の黙示的な保証を含む、すべての明示的または黙示的な条件、表明、保証は、この免責が法的に無効であるとみなされないかぎり、免責されるものとします。Symantec Corporation は、本書の供給、性能、使用に関する付随的または間接的損害に対して責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアと関連書類は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、Symantec により構内サービスとホスト型サービスのどちらとして提供されるかにかかわらず、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアと関連書類の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

弊社製品に関して、当資料で明示的に禁止、あるいは否定されていない利用形態およびシステム構成などについて、これを包括的かつ暗黙的に保証するものではありません。また、弊社製品が稼動するシステムの整合性や処理性能に関しても、これを暗黙的に保証するものではありません。

これらの保証がない状況で、弊社製品の導入、稼動、展開した結果として直接的、あるいは間接的に発生した損害等についてこれが補償されることはありません。製品の導入、稼動、展開にあたっては、お客様の利用目的に合致することを事前に十分に検証および確認いただく前提で、計画および準備をお願いします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street
Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com>

Symantec ApplicationHA リリースノート

この文書では以下の項目について説明しています。

- [ApplicationHA とは](#)
- [新機能](#)
- [必要条件](#)
- [ApplicationHA のスタートガイド](#)
- [サポート対象外](#)
- [ソフトウェアの制限事項](#)
- [既知の問題](#)
- [6.1 でのソフトウェアの修正点と拡張機能](#)

ApplicationHA とは

ApplicationHA は、シマンテック社のアプリケーション可用性管理ソリューションの 1 つです。VMware vCenter Server が管理する仮想マシンの内部で実行しているアプリケーションの監視機能を提供します。ApplicationHA は、VMware の仮想化技術によって提供されるコアとなる HA 機能にアプリケーションを認識する層を追加します。

ApplicationHA は、™ Cluster Server (VCS) に基づき、エージェント、リソース、サービスグループなどの類似概念を使います。ただし、GAB (Group Membership and Atomic Broadcast) や LLT (Low Latency Transport) などの高可用性クラスタコンポーネントは含まれません。ApplicationHA は、より迅速なインストールと設定を可能にする軽量版のサーバーフットプリントを使います。

主に次のような利点があります。

- VMware vCenter Server とのアウトオブザボックス統合。
- アプリケーションの完全な可視性と制御、仮想マシンの内部で実行中のアプリケーションの起動、停止、監視を行う機能。
- VMware vSphere クライアントまたは VOM 管理サーバーコンソールと統合した単一インターフェースを使ってアプリケーションを管理する標準的な方法。
- 特殊なアプリケーション保守モード(このモードでは、ApplicationHA により、保守またはトラブルシューティングの対象となっているアプリケーションを意図的に停止できます)。
- リカバリサイトで仮想マシンを起動した後にアプリケーション監視を再開する機能を提供する VMware SRM Server との統合。

主な機能

以下は、ApplicationHA の主な機能です。

- エンタープライズアプリケーションのサポート。
サポートされているアプリケーションのリストについては、次を参照してください。
<http://www.symantec.com/docs/TECH209010>
- インストールと設定のシンプルなワークフロー。
- vCenter の仮想マシンに対するシングルサインオン。
- ユーザー権限に基づく任意のアクセス制御。
- Windows および Linux プラットフォームで実行中のアプリケーションを管理するための単一の GUI。
- 設定済みのアプリケーションのコンポーネントの依存関係を GUI で表示する機能。
- 設定済みのアプリケーションをまとめて表示でき、管理者が VMware 仮想環境のアプリケーションを監視しやすい単一のダッシュボードインターフェース。
- ApplicationHA のゲストコンポーネントのインストール、ライセンスの管理、サイトリカバリ用のシングルサインオンを行うための vSphere Client に組み込みのオプション。
- アプリケーションエラー時の仮想マシンの正常な再ブートを設定できる機能。
- VMware SRM で制御されたディザスタリカバリ環境でアプリケーション監視の継続性を保つ機能。
- Symantec Agent Pack リリースで提供される、継続的なアップデートと追加アプリケーションのサポート。

新機能

Symantec ApplicationHA のこのリリースでは次の点が強化されています。

Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2 のサポート

このリリースでは、ApplicationHA は Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2 をサポートします。

Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 で稼動するシステム上に ApplicationHA、Symantec High Availability Console をインストールしてアプリケーションを設定できるようになりました。

新しいアプリケーションおよびバージョンの追加サポート

このリリースでは、ApplicationHA は以下のアプリケーションおよびバージョンのサポートを提供します。

- SQL Server 2012
- Oracle 12c
- IIS 8.0

ApplicationHA 6.1 インストールメディアのパッケージの変更

このリリースで、Symantec ApplicationHA は SFHA (Storage Foundation and High Availability) 6.1 のインストールメディアと一緒にパッケージ化されます。この変更により、ApplicationHA のために別のインストールメディアをダウンロードし、管理する必要がなくなります。

CD ブラウザは ApplicationHA をインストールするために個別のタブを表示します。[ApplicationHA]タブを選択すると、仮想化環境に基づいて ApplicationHA をインストールするための 2 つの個別のリンク、[ApplicationHA (VMare 向け) (ApplicationHA (for VMare))] および [ApplicationHA (Hyper-V 向け) (ApplicationHA (for Hyper-V))] が利用可能になります。

VMware バージョンの追加サポート

次の VMware バージョンがサポート対象になりました。

- vSphere Client 5.0 Update 1 a/b、5.1、5.5
- vCenter Server 5.0 Update 1 a/b、5.1、および 5.5
- VMware ESXi Server 5.0 Patch 4、5.1 および 5.5
- VMware SRM Server 5.1 および 5.5

ApplicationHA のライセンス付与

Symantec ApplicationHA はライセンス製品です。Symantec ApplicationHA のライセンス付与は、使用中のサーバーオペレーティングシステムに基づいています。

インストール中に、製品インストーラはライセンスの詳細を指定するために次のオプションを提供します。

- キーレス
キーレスライセンスは、組み込みのキーをインストールします。キーレスライセンスは 60 日間使用できます。
キーレスオプションを使用して製品をインストールすると、製品インストールの 60 日以内に次のタスクのうちいずれかを実行する必要があることを示すメッセージがイベントビューアに毎日ログ記録されます。これに失敗すると、非対応のエラーが 4 時間ごとに記録されます。
 - システムを管理対象ホストとして VOM (Veritas Operations Manager) 管理サーバーに追加します。
詳しくは VOM のマニュアルを参照してください。
 - Windows の [プログラムの追加と削除 (Add or Remove Programs)] から Symantec 製品インストーラを使用し、システムに適切で有効なライセンスを追加します。
- ユーザーが入力したキー
ユーザーが入力したキーライセンスの場合、該当するライセンスキーをシマンテック社のライセンス証明書およびポータルから入手する必要があります。ユーザーが入力したキーライセンス (User Entered Key) を使用すると、入力するライセンスキーに基づいて製品オプションを使用することができます。
<https://licensing.symantec.com/>

メモ: 評価ライセンスは廃止されました。

IMF (Intelligent Monitoring Framework) を使用した即時障害検出

ApplicationHA は、設定されたアプリケーションを監視するためのイベント駆動型設計を使用する IMF (Intelligent Monitoring Framework) を導入します。IMF は非同期で、即時のリソース状態変更通知を提供します。これによって障害検出機能が大幅に改善され、ApplicationHA は適切な修正処理をすばやく実行できるようになります。IMF はポーリングベースの監視の追加機能として動作します。

ApplicationHA のすべてのエージェントでは IMF が有効になっています。イベント駆動型の監視が不要な場合は、IMF を無効にすることができます。

ポーリングベースの監視に対するインテリジェントな監視の利点は次のとおりです。

- 即時の通知

リソース状態の変更をより速く通知することで、サービスグループのフェールオーバーの時間が短縮されます。

- システムリソース使用率の減少
監視されるアプリケーションコンポーネントの数が多い場合に、ApplicationHA エージェントプロセスによる CPU 使用率を低減します。これにより、システムリソースの使用率についてパフォーマンスが大幅に向上します。
- 大量のリソースを監視
CPU の使用率を低減した状態で、IMF により ApplicationHA は大量のコンポーネントを効率的に監視できます。

入れ子のマウントポイントの監視のサポート

アプリケーションデータが入れ子のマウントポイントに格納される場合、これらのマウントポイント間で依存関係を設定する必要があります。この設定によって、ApplicationHA ですべての入れ子のマウントポイントを監視できます。

MountDependsOn 属性が MountMonitor エージェントに追加されました。この属性は入れ子のマウントポイント間の依存関係を定義します。

この属性が設定されていない場合、ApplicationHA は最後のマウントポイントのみ監視します。

この属性の値は、キーと値のペアで指定する必要があります。

ここで、

Key= マウントのパス

Value= ボリューム名

64 ビットプラットフォーム限定のサポート

このリリースでは、ApplicationHA は 64 ビットプラットフォームのサポートのみを提供しません。

OS とアプリケーションインストールのどちらも 64 ビットである必要があります。

必要条件

サポートされるオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア必要条件、サポートされるアプリケーション、および他の一般的な必要条件について詳しくは、『Symantec™ ApplicationHA インストール/アップグレードガイド』を参照してください。

サポートされるハードウェアの最新情報について詳しくは、以下のハードウェア互換性リスト (HCL) を参照してください。

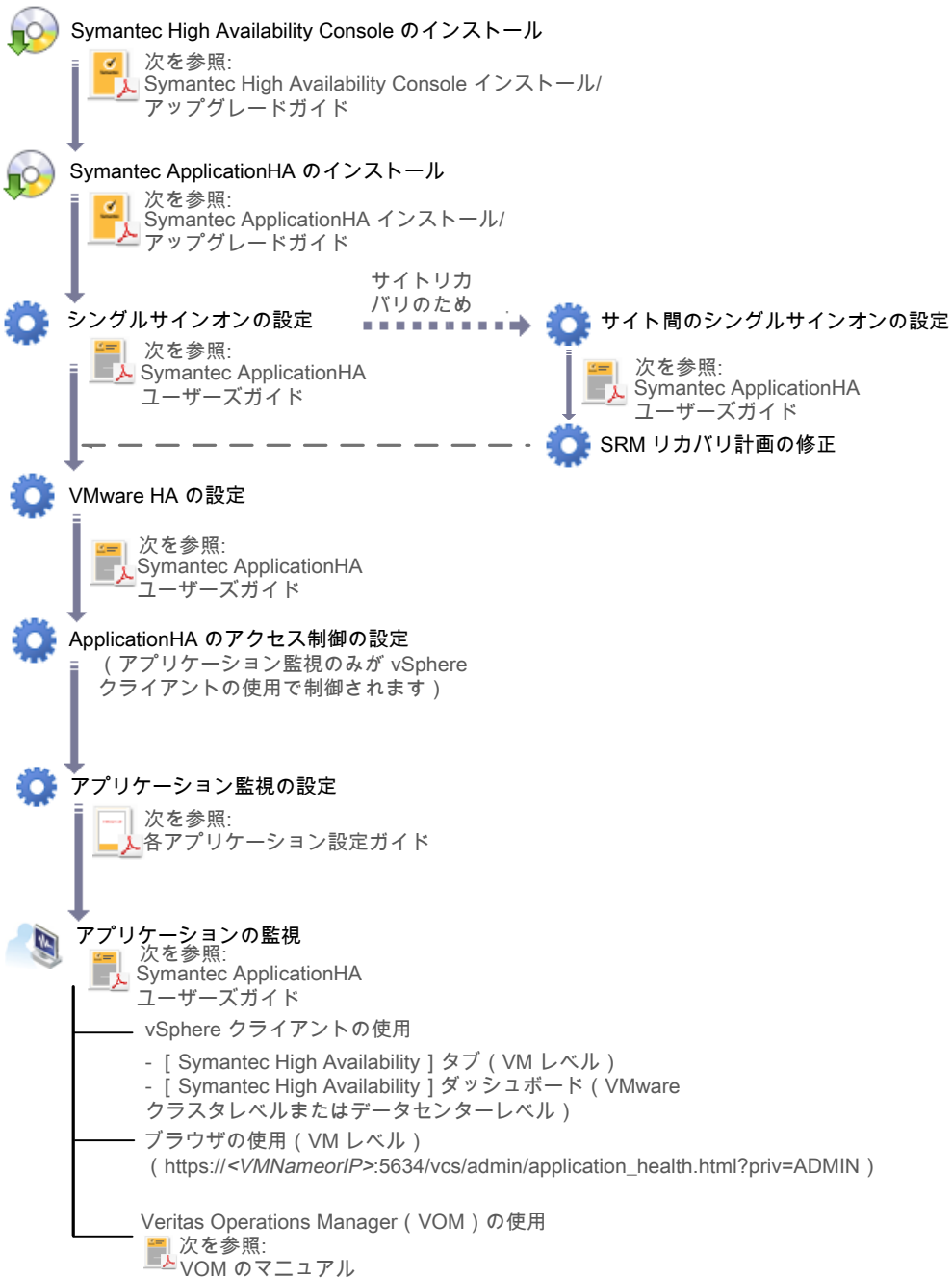
<http://www.symantec.com/docs/TECH208993>

サポートされるソフトウェアの最新情報について詳しくは、以下のソフトウェア互換性リスト (SCL) を参照してください。

<http://www.symantec.com/docs/TECH209010>

ApplicationHA のスタートガイド

次の図は、ApplicationHA の使用を開始するためのワークフローと、詳細を記載した関連文書を示します。



メモ: Symantec High Availability Console によって、ApplicationHAとVMware vSphere Client を統合し、次の ApplicationHA タスクを実行することができます。

ApplicationHA をインストールします

- サイトリカバリ設定のためのサイトの境界を越えたシングルサインオンを設定します
- 仮想マシンの自動リカバリを設定した場合、仮想マシンを自動リカバリに登録します
- アプリケーション監視を管理します

サイトリカバリを設定しない場合は、仮想マシンを自動リカバリに登録するか、VMware vSphere Client を使用して ApplicationHA をインストールし、アプリケーション監視を管理します。これで、Symantec High Availability Console をインストールする必要はなくなります。

サポート対象外

次の機能、条件、コンポーネント、またはオペレーティングシステムのサポートは、リリース 6.1 では継続されません。

- Veritas Operations Manager 5.0 以前
- ApplicationHA 管理用の Veritas Operations Manager アドオン
- VMware SRM (Site Recovery Manager) 4.1
- VMware SRM Server 向け Symantec ApplicationHA コンポーネント
VMware SRM 環境のアプリケーションの監視を継続する場合、VMware SRM Server の Symantec ApplicationHA コンポーネントをインストールする必要はありません。
- Symantec ApplicationHA Console は、Symantec High Availability Console に置き換わります。
- [Symantec ApplicationHA] タブは [Symantec High Availability] タブに置き換わります。Symantec ApplicationHA ダッシュボードは Symantec High Availability ダッシュボードに置き換わります。
- 埋め込みの評価ライセンスキー
- SQL Server 2005
- Exchange
- Windows Server 2003 および Windows Server 2008
Windows Server 2003 または Windows Server 2008 で稼動するシステム上に ApplicationHA をインストールしてアプリケーションを設定することはできません。
- 32 ビットアーキテクチャ (OS およびアプリケーションのインストール)
32 ビットシステムに ApplicationHA をインストールしてアプリケーション監視を設定することはできません。

ソフトウェアの制限事項

製品のこのリリースには次の制限事項が適用されます。

Print Share 向け ApplicationHA エージェントは、Windows Server 2008 R2 でのみサポートされる

Print Share 向け ApplicationHA エージェントは、Windows Server 2008 R2 でのみサポートされます。

Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 で稼動するシステム上で PrintShare を設定することはできません。

ダッシュボードは、バージョン 5.1 または 5.1 SP1 の ApplicationHA ゲストコンポーネントを実行する仮想マシンを検出しません。

Linux の ApplicationHA 5.1 または Windows の ApplicationHA 5.1 SP1 を実行する仮想マシンのアプリケーション監視を管理するために、ApplicationHA のダッシュボードを使用することはできません。これは、ダッシュボード機能が ApplicationHA 5.1 SP2 および ApplicationHA のゲストのコンポーネントで導入され、古いリリースではダッシュボード機能がサポートされていないためです。ただし、[Symantec High Availability] タブでこのような仮想マシンのアプリケーション監視の管理を継続することができます。

回避策:

5.1 または 5.1 SP1 から ApplicationHA のゲストコンポーネントを ApplicationHA 5.1 SP2 以降にアップグレードします。

ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストールパスがデフォルトで常に C: ドライブに設定される

これは、vSphere Client メニューから ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールする場合に該当します。

ゲストコンポーネントインストーラは、オペレーティングシステムがインストールされているドライブを検出できません。インストーラはデフォルトのインストールパスを常に C:\Program Files\Veritas に設定します。%SystemDrive% が D:、E:、またはその他のドライブ文字であっても、インストーラは常にデフォルトで C: ドライブに設定されます。

ただし、インストールウィザードでインストールパスを編集できます。C: がシステムドライブではない場合は、システムの正しいインストールパスを指定してください。(2388827)

ApplicationHA Dashboard は仮想マシンごとに最大 30 の (アプリケーション) コンポーネントグループをサポートする

Symantec ApplicationHA は設定されたアプリケーションを監視するためのダッシュボードインターフェースを導入します。このリリースでは、ダッシュボードが仮想マシンごとにサポートする (アプリケーション) コンポーネントグループの数は 30 のみです。

DBCS 文字がサポートされていない

このリリースでは、2 バイト文字セット (DBCS) 文字はサポートされていません。ユーザー名、システム名、ディレクトリパス、アプリケーションインスタンス名、アプリケーションコンポーネント名などのオブジェクトに DBCS 文字は含まれていません。Symantec High Availability コンソールとゲストコンポーネントのインストール時に指定されたシステム名とディレクトリパスに DBCS 文字が含まれている場合、インストールは正常に完了する可能性があります。ただし、Symantec High Availability コンソールで仮想マシン管理者アカウントを設定できないことがあります。ApplicationHA 設定ウィザードがアプリケーション監視の設定に失敗し、VMware vSphere Client の ApplicationHA ビューに仮想マシンの状態が表示されない場合があります。(2124936)

アプリケーション監視がクラスタディスクグループで設定されるマウントに対してサポートされない

このリリースでは、クラスタディスクグループで作成されるボリュームとマウントに対するアプリケーション監視はサポートされません。Storage Foundation for Windows (SFW) を使って管理されるストレージを監視する場合は、動的ディスクグループを使います。(2126853)

マップしたネットワークドライブのアプリケーション監視がサポートされない

ApplicationHA はマップしたネットワークドライブのアプリケーション監視をサポートしません。

既知の問題

次の既知の問題が製品のこのリリースに存在します。

SFW がアンインストールされていると ApplicationHA はアプリケーション監視を中断する場合がある

この問題はセットアップに SFW および ApplicationHA がインストールされていると発生します。

SFW をアンインストールすると、SFW および ApplicationHA によって使われているファイルのいくつかが削除されます。その結果、ApplicationHA はアプリケーション監視を中断し、[Symantec High Availability] タブおよび Symantec High Availability ダッシュボードにはアプリケーションの状態が表示されなくなります。(3440978)

回避策: SFW がアンインストールされた仮想マシンで次の手順を実行します。

1. SFW のアンインストールが完了したら、仮想マシンを再ブートします。
2. ApplicationHA のインストールを修復します。
3. 次のフォルダに移動して、Restore_AppHA.bat ファイルを実行します。

```
Product Install Dir%Veritas  
Shared%VPI%{F834E070-8D71-4c4b-B688-06964B88F3E8}%
```

ログオンユーザーがドメイン管理者である場合、Windows Server 2012 R2 のインストールに通常よりも時間がかかる

この問題は、ログオンユーザーがドメイン管理者の場合、Windows Server 2012 R2 システム上で Windows サービスをインストールするのに 3 ~ 4 分かかるために発生します。(3422177)

インストールの遅延を避けるには、ローカルの管理者アカウントを使用します。ローカルの管理者アカウントを使用すると、Windows サービスのインストールは数秒で完了します。

ユーザーアカウント詳細が無効でもアプリケーション監視設定ウィザードが実行される

この問題は Oracle データベースのアプリケーション監視を設定する際に発生します。(3423351)

[Oracle データベースの選択 (Oracle Database Selection)] パネルで、設定ウィザードを使用してデータベースを選択し、次の情報を提供することができます。

- ドメインまたはホスト名: ユーザーが属する、Oracle がインストールされたドメインまたはホストの名前。
- ユーザー名: Oracle のデータベース管理者権限を持つドメインユーザーまたはローカルユーザーの名前。
- Password: 提供されるユーザーアカウントのパスワード。

これらの詳細のいずれかが無効でも、ウィザードが実行して設定を完了します。ただし、設定されたコンポーネントは後で不明な状態になります。

回避策: アプリケーション監視の設定を解除し、有効なユーザーアカウント詳細を使用して再度設定します。

あるいは、Oracle リソースの次の属性を修正します。

- Domain
- UserName
- EncryptedPasswd

Oracle リソースの属性を修正するには

- 1 Oracle データベースを設定した仮想マシンで、コマンドプロンプトに次のように入力し、Enter キーを押します。

```
haconf -makerw
```

このコマンドは設定モードを読み書きに設定します。

- 2 Oracle リソース名を見つけます。コマンドウィンドウに次のコマンドを入力し、Enter を押します。

```
hares -list
```

このコマンドリストは監視のために設定されるすべてのリソースを一覧表示します。通常、Oracle リソースには「Oracle_ *instance name*」という名前が付いています。

すべての Oracle リソースの属性を修正する必要があります。

- 3 Domain 属性を変更します。コマンドウィンドウに次のコマンドを入力し、Enter を押します。

```
hares -modify resource_name Domain domain or hostname
```

- 4 UserName 属性を修正します。コマンドウィンドウに次のコマンドを入力し、Enter を押します。

```
hares -modify resource_name UserName username
```

- 5 ユーザーアカウントパスワードを暗号化します。コマンドウィンドウに次のコマンドを入力し、Enter を押します。

```
vcscrypt -agent password
```

- 6 暗号化されたパスワードを控えておきます。

- 7 EncryptedPasswd 属性を変更します。コマンドウィンドウに次のコマンドを入力し、Enter を押します。

```
hares -modify resource_name EncryptedPasswd encrypted password
```

- 8 設定を保存して閉じます。設定モードを読み取り専用に変更するには、コマンドプロンプトに次のように入力し、Enter キーを押します。

```
haconf -dump -makero
```

提供されたユーザーアカウントの詳細に英語以外の文字が含まれていると、アプリケーション構成ウィザードが SQL サーバーインスタンスを表示できない

この問題は SQL Server 2012 のアプリケーション監視を設定する際に発生します。
(3423675)

[アプリケーション入力 (Application Inputs)] パネルで、設定ウィザードは SQL サーバー向けの Windows 管理ユーザー (SYSADMIN) のユーザーアカウント詳細を提供し、[SQL インスタンスの選択 (SQL Instance Selection)] パネルに SQL サーバーインスタンスを一覧表示します。

ユーザーアカウントの詳細に英語以外の文字が含まれている場合、ウィザードは SQL サーバーインスタンスを表示することができません。

回避策: 提供するユーザーアカウントの詳細に英語以外の文字を含めないでください。

Symantec High Availability Console を再インストールすると SSO 設定が失敗する場合がある

Symantec High Availability Console を再インストール後に SSO を設定しようとすると SSO 設定が失敗する場合があります。(3414969)

この問題はコンソールのアンインストール中にすべての関連ファイルおよびフォルダが削除されなかったために発生します。「ApplicationHA」フォルダはコンソールのアンインストール後も削除されません。

回避策: 問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. コンソールを再インストールする前に、Veritas Messaging Service を停止します。
2. コンソールを再インストールするマシンで、次のパスに移動して「ApplicationHA」フォルダを削除します。

`%programdata%\Symantec`

3. コンソールを再インストールし、SSO を設定します。

有効なライセンスキーを追加した後も、規則を順守していないことを示す警告メッセージが記録される場合がある

キーレスオプションを使用して ApplicationHA をインストールすると、イベントビューアにメッセージが記録され、製品のインストール後 60 日以内に、有効なライセンスをインストールする必要があることを示します。これを行わない場合、規則を順守していないことを示すメッセージが記録されます。(3403622)

この問題は Symantec High Availability Home View または [Symantec High Availability] タブを使用してライセンスを更新すると発生します。有効なライセンスキーを

追加した後も、規則を順守していないことを示すメッセージがイベントビューアに記録されます。

回避策: Windows の[プログラムの追加と削除 (Add or Remove Programs)]を使用して有効なライセンスキーを更新/追加します。

SharePoint Server リソースが、SPS Central Administration Console 以外の仮想マシンでオンライン化できない

この問題は、SharePoint Server 向けの ApplicationHA エージェントの AppPoolMon 属性の値がデフォルトに設定され、IIS 7 が実行プロセス分離モードで実行するように設定されている場合に発生します。(3379554)

回避策: SharePoint Server の監視を設定するすべての仮想マシンに IIS 6.0 メタベース互換性をインストールします。

アプリケーション設定ウィザードがアプリケーションを検出できない場合がある

アプリケーション監視の設定中に、アプリケーション設定ウィザードがインストールされたアプリケーションを検出できない、または「hadiscover は内部コマンドまたは外部コマンドとして認識されていません (hadiscover is not recognized as an internal or external command)」というエラーを表示する場合があります。

ウィザードは[アプリケーション選択 (Application Selection)]パネルにアプリケーションを表示しないか、[アプリケーション選択 (Application Selection)]パネルで[次へ (Next)]をクリックした後にエラーを表示します。(3290602)

この問題は、ApplicationHA を再インストールしたシステムからウィザードを起動する場合に発生します。

回避策: ウィザードを終了し、Veritas Storage Foundation Messaging Service を再開してからウィザードを再度実行します。

ゲストコンポーネントのインストールの修正後にカスタム設定が失われる

この問題はこのエージェントパックをインストールした後にカスタム設定(カスタムエージェント、リソースタイプ、属性値、引数、設定)をアプリケーション監視設定に追加した場合に発生することがあります。

アプリケーション監視が未設定(またはアプリケーション監視を未設定)の場合、Windows の[プログラムの追加と削除]を使用した ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストールの修正を実行すると、設定に行われたカスタム設定はすべて失われます。

修正自体は正常に実行されますが、カスタマイズされた設定は保持されません。設定はデフォルト設定に戻ります。(3085398)

回避策: ゲストコンポーネントのインストールを修正する前に設定のカスタム設定をバックアップすることをお勧めします。

次のファイルのバックアップを作成します。

```
%vcs_home%\¥conf\¥config\¥types.cf
```

ここで、**%vcs_home%** はデフォルトの製品インストールディレクトリで、通常 `C:\¥Program Files\¥Veritas\¥Cluster Server` です。

修正が正常に実行された後、既存のディレクトリ(**%vcs_home%\¥conf\¥config**)の `types.cf` ファイルを前に作成したバックアップコピーと手動で置き換えます。これにより、設定のカスタマイズされた設定がすべてリストアされます。

設定ウィザードがファイル共有のドメインユーザーの Allow 権限と Deny 権限を検出できない

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視対象にファイル共有を設定する場合に発生します。仮想マシンにドメインコントローラとの信頼関係がなければ、ウィザードはファイル共有のドメインユーザーの Allow 権限と Deny 権限を検出できません。

そのため、アプリケーション監視にそのようなユーザーの権限を選択できません。(2326251)

回避策: この問題に対する回避策はありません。

設定ウィザードがディレクトリパスに「%」を含む SQL インスタンスを表示できない

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視対象の SQL Server インスタンスを設定する場合に発生します。インスタンスのディレクトリパスに「%」(パーセント)が含まれている場合、インスタンスはウィザードの [SQL インスタンスの選択 (SQL Instance Selection)] パネルに表示されません。

そのため、そのようなインスタンスをアプリケーション監視に選択できません。(2403740)

回避策: この問題に対する回避策はありません。

設定ウィザードが 300 を超える印刷共有の監視をサポートしない

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視対象に 300 を超える印刷共有を設定する場合に発生します。ウィザードはタイムアウトし、共有を設定できません。この問題を避けるには、アプリケーション監視対象に 300 を超える印刷共有を選択しないでください。(2409012, 2409016)

回避策: この問題に対する回避策はありません。

印刷共有が FileShare 監視の設定時にファイル共有とともに一覧表示される

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視対象にファイル共有を設定する場合に発生します。検出手順によりウィザードの [FileShare 監視設定 (FileShare Monitoring Configuration)] パネルに印刷共有がファイル共有とともに一覧表示されます。そのため、印刷共有を設定に選択すると、FileShare のアプリケーション監視は失敗します。(2401444)

回避策: この問題を解決するには、FileShare に対するアプリケーション監視の設定時に印刷共有を選択しないでください。PrintShare アプリケーションを選択することにより、ウィザードを使用して PrintShare に対しアプリケーション監視を設定できます。

設定ウィザードがプリンタと印刷共有の名前で特定の特殊文字と記号をサポートしていない

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視に対し印刷共有を設定する場合に発生します。監視対象に設定する印刷共有の場合、共有名またはその対応するプリンタ名に以下に一覧表示されているもの以外の特殊文字または記号が含まれていると、ウィザードは監視対象の共有を設定できません。(2403557, 2396536)

ウィザードは、すべての英数字および次の特殊文字と記号をサポートしています。

~	波形符	(左丸カッコ
@	アットマーク)	右丸カッコ
#	シャープ記号	[左角カッコ
\$	ドル記号]	右角カッコ
%	パーセント記号	{	左波カッコ
+	プラス記号	}	右波カッコ
_	下線文字		

回避策: この問題に対する回避策はありません。

サービス名に「&」が含まれている場合、ApplicationHA 設定ウィザードはサービスの監視を設定できない

この問題は、ApplicationHA 設定ウィザードを使用してアプリケーション監視に対しサービスを設定する際に発生します。サービスの名前に「&」(アンド記号)が含まれている場合、ウィザードは監視するサービスの設定に失敗します。(2266698)

回避策: この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 ApplicationHA ビューを使用して、一部のアプリケーション監視の設定を解除します。
- 2 ApplicationHA 設定ウィザードを使用して、名前に「&」を含むものを除くすべてのサービスに対しアプリケーション監視を設定します。
- 3 コマンドラインインターフェース (CLI) を使用して、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、名前に「&」を含むサービスに対しリソースを手動で追加します。

- `haconf -makerw`
- `hares -add <resname> GenericService <groupname>`
- `hares -modify <resname> ServiceName <servicename>`
- `haconf -dump -makero`

resname はリソースの名前、*groupname* は手順 2 を完了した後に作成されたグループの名前、*servicename* は「&」を含むサービスの名前です。

SSO 設定は、ApplicationHA 6.1 へのアップグレード後に失敗する場合があります。

この問題は次のアップグレードパスで発生します:(3341666)

- ApplicationHA 5.1 SP2 のゲストコンポーネントから ApplicationHA 6.1
- ApplicationHA 5.1 SP2 のゲストコンポーネントから ApplicationHA 6.0

ApplicationHA 5.1 SP2 で仮想マシンユーザーのセキュリティ証明書が保存されるファイルパスは、ApplicationHA 6.0 および 6.1 の場合とは異なります。ApplicationHA 6.1 へのアップグレード中に、ウィザードはこれらの証明書を ApplicationHA 5.1 SP2 に適用されるパスから取得しようとしています。このパスに証明書が見つからないため、SSO 設定は中断します。

回避策: ApplicationHA 6.1 のインストール中に、SSO 設定パネルに仮想マシンのユーザーアカウントの詳細を提供し、SSO を再設定します。

あるいは、仮想マシンのユーザーアカウントの詳細を提供せずに ApplicationHA 6.1 のインストールを完了し、vCenter Server インベントリから仮想マシンを選択します。
[Symantec High Availability] タブを選択し、ユーザーアカウントの詳細を提供して SSO を再設定します。

10 を超える PrintShare リソースが同時にオンライン化すると、PrintShare サービスグループにエラーが発生し、Windows の印刷スプーラーサービスはクラッシュします。

この問題は PrintShare サービスグループを初めてオンライン化しようすると発生します。(3268645)

10 を超える PrintShare リソースを単一のマシン上で同時にオンライン化すると、すべてのリソースが同時にオンライン化を試みます。その結果、PrintShare サービスグループにエラーが発生し、PrintSpooler サービスはクラッシュします。

回避策: Veritas Storage Foundation Messaging Service と PrintSpooler サービスを再起動します。

メモ: オンライン化を初めて試みる時にすべての PrintShare リソースが同時にオンライン化するのを防ぐには、PrintShare サービスグループをオンライン化する前に Print Share エージェントの「NumThreads」属性を 1 に設定します。

これによって、リソースは 1 つずつ順番にオンライン化します。サービスグループがオンライン化したら、「NumThreads」属性を元の値にリセットすることができます。

App.RestartAttempts 設定の値を 2 以上にすると動作しない

App.RestartAttempts 設定オプションは、エラーが起きたアプリケーションまたはそのコンポーネントの再起動を ApplicationHA が試行する回数を定義します。1 から 6 までの値を設定できます。

特定のアプリケーション設定では、この値を 2 以上に設定すると動作しません。アプリケーションを正常に設定した後で、アプリケーションまたはそのアプリケーションと依存関係にあるコンポーネントでエラーが起きると、ApplicationHA は再起動を 1 回試みます。アプリケーションが起動しない場合、ApplicationHA はそのアプリケーションをエラーがある状態として報告します。(2508392)

この問題は、次のアプリケーションまたはコンポーネントにのみ該当します。

Windows の場合

- カスタムアプリケーション(サービス、処理、ストレージマウントを含む)

回避策

現在、この問題を解決する回避策はありません。

上記のアプリケーションでは、App.RestartAttempts の値を 1 に設定することを推奨します。

このように設定することで、エラーが発生したコンポーネントの再起動を、ApplicationHA が少なくとも 1 回試行するようにできます。それでもこのコンポーネントの起動に失敗する場合は、ApplicationHA はエラーの発生を宣言し、設定に従ってそれ以降の処理を行います(仮想マシンの段階的な再ブートなど)。

スクリプト出力が 1024 文字を超えた場合に SQL Server 2008 のスクリプトベースの詳細監視が失敗する

この問題は、SQL Server 2008 または SQL Server 2008 R2 に対しスクリプトベースの詳細監視を設定する場合に発生します。詳細監視スクリプト出力が 1024 文字を超えると、詳細監視が失敗し、SQL リソースが UNKNOWN 状態、またはエラー (FaultOnDMFailure が True に設定されている場合) (2710112) になることがあります。

回避策: 詳細監視に指定されるスクリプトの出力が 1024 文字以下になるようにします。

Symantec High Availability コンソールのログインユーザーパスワードに特殊文字「(&)」が含まれている場合、SSO 設定が失敗する

この問題は、製品インストーラを使用した ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストール時に発生します。

[シングルサインオンの設定 (Configure Single Sign-on)] パネルで指定された Symantec High Availability コンソールのログインユーザーパスワードに特殊文字「&」が含まれている場合、SSO 設定は失敗します。(2594609)

ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストールディレクトリに特殊文字 (\$) が含まれていると SSO 設定が失敗する

ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストール時に指定したカスタムの場所パスに特殊文字「\$」が含まれていると、SSO 設定が失敗します。(2556996)

アプリケーション監視設定のフリーズ

ホスト名がハイフンで始まるシステムにアプリケーション監視を設定するとこの問題が発生します。(2038685)

アプリケーション監視設定がフリーズし、vSphere クライアントの ApplicationHA ビューがアプリケーションの状態を表示しないことがあります。設定したアプリケーションが失敗しても、ApplicationHA は何の対応もしません。

シマンテック社は、ApplicationHA をインストールし、インストールしたシステムでアプリケーション監視を設定する前に、ホスト名がハイフンで始まるシステムの名前を変更することを推奨します。

VMware のスナップショットによる操作と仮想マシンの移行中に発生する問題

Symantec ApplicationHA がアクティブにアプリケーションを監視しているシステムでは、仮想マシンの管理中に次の問題が発生する可能性があります。

- 仮想マシンのスナップショットと連携して操作している場合
この問題は、vCenter Server バージョン 4.0、4.1、4.1 Update 1 をインストールした場合にのみ発生します。この問題は、vCenter Server バージョン 5.0 をインストールした場合には発生しません。
仮想マシンのスナップショットを作成している間、ApplicationHA のビューが瞬間的にフリーズし、監視中のアプリケーションの現在の状態を表示できなくなります。また、スナップショットを復帰した後、操作が完了した仮想マシンが再ブートする場合があります。
vSphere Client の [タスクおよびイベント (Tasks & Events)] タブの [イベント (Events)] ビューに、次の警告メッセージが表示されます。
<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビートが失敗しました
<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusRed に変わりました
<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGreen に変わりました
- 仮想マシンを代替 ESX ホストへ移行している場合
仮想マシンの移行を開始した場合、ApplicationHA のビューが瞬間的にフリーズし、監視中のアプリケーションの現在の状態を表示できなくなります。
vSphere Client の [タスクおよびイベント (Tasks & Events)] タブの [イベント (Events)] ビューに、次の警告メッセージのうちの一つが表示されます。
<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGray に変わりました
<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGreen に変わりました

回避策

これは VMware HA に関する既知の問題です。この問題のためのホットフィックスについて詳しくは、次の VMware ナレッジベース記事を確認してください。

<http://kb.vmware.com/kb/1027413>

シマンテック社は、スナップショットと連携する操作、または仮想マシンの移行を実行する前に、仮想マシンのアプリケーションハートビート (ApplicationHA ビューにある [アプリケーションハートビートの無効化 (Disable Application Heartbeat)] ボタン) を無効にすることを推奨します。仮想マシンの管理アクティビティが完了した後、アプリケーションハートビート (ApplicationHA ビューにある [アプリケーションハートビートの有効化 (Enable Application Heartbeat)] ボタン) を再度有効にしてください。

ApplicationHA コマンドがロケール設定どおりに時間を表示しない

この問題は出力で日付とタイムスタンプを表示するすべての ApplicationHA コマンドで発生します。日付とタイムスタンプがシステムのロケール設定どおりに表示されません。英語でのみ表示されます。(2142740)

[Symantec High Availability] タブがフリーズする場合があります

ApplicationHA が仮想マシンとの接続を確立できなかった場合、vSphere Client の [Symantec High Availability] タブがフリーズする場合があります。[Symantec High Availability] ビューのアプリケーションの状態がハングアップ状態のようになり、更新できません。(2125902)

回避策

これは仮想マシンが ApplicationHA の HTTP 要求の応答に失敗した場合に発生します。仮想マシンは中断状態にあるか、または代替 ESX ホストへの移行の過程に入っていることが考えられます。

次の処理を実行します。

- 仮想マシンの電源がオンになっており、ネットワークにアクセス可能であることを確認します。
- [Symantec High Availability] タブを閉じ、再度開きます。
vSphere Client で別の仮想マシンをクリックし、元の仮想マシンを再度クリックした後に、[Symantec High Availability] タブを選択します。または、vSphere Client を終了し、再び起動します。

インストールディレクトリに複数の「%」文字が含まれる場合、Symantec High Availability コンソールのインストールでエラーが発生し、プラグインの登録が失敗する

この問題は、Symantec High Availability コンソールインストーラを使って Symantec High Availability コンソールをインストールするときに発生します。[システム検証 (System Validation)] パネルで、連続した「%」文字を含むパスにインストールディレクトリをカスタマイズすると、ウィザードによって検証チェックが正常に完了され、次へ進むことができます。ただし、[インストール後の概略 (Post-install Summary)] パネルで [次へ (Next)] をクリックすると、ウィザードで「プライベートドメインの作成に失敗しました。(Failed to create private domain.) 指定したパスを見つけることができません (The system cannot find the path specified)」エラーが表示されます。このエラーメッセージで [OK] をクリックして、インストールを続行できます。ただし、インストールワークフローの完了後、ウィザードは ApplicationHA プラグインを vCenter Server に登録できません。

コンソールサーバーで利用可能な PluginMgmt.bat ユーティリティを使ってプラグインを検証すると、プラグインの状態がプラグインがすでに登録されていると示されます。しか

し、vCenter Server で利用可能な Plug-in Manager でプラグインの状態を検証すると、プラグインの状態が「Download & Install」になります。

回避策

Symantec High Availability コンソールのインストールウィザードを再起動し、複数の「%」文字を含まない有効なパスを指定します。

Veritas Operations Manager がアンインストールされた場合に ApplicationHA が動作しない

VOM (Veritas Operations Manager) の Managed Host コンポーネントは、ApplicationHA のインストール時に Console Server とゲスト仮想マシンにインストールされます。Windows の [プログラムの追加と削除] で別のエントリが VOM に対し作成されます。(2361128、2323516)

VOM をアンインストールすると VRTSsfmh パッケージが削除されるため、ApplicationHA 機能が失われます。sfmh パッケージには、ApplicationHA と VOM の両方で使われる「Veritas Storage Foundation Messaging Service」(xpftld) が含まれています。

メモ: この問題は、Veritas Operations Manager Central Server をアンインストールしたときにも発生します。

回避策

次の手順の実行

- 1 ApplicationHA ソフトウェアディスクをシステムドライブに挿入し、Pkgs¥Common ディレクトリに移動します。

Veritas Operations Manager Central Server をアンインストールした場合は、Pkgs¥Common¥x64 ディレクトリに移動する必要があります。

- 2 VRTSsfmh.msi を実行します。
- 3 ApplicationHA のゲストのインストールを修復します。

Veritas Operations Manager Central Server をアンインストールした場合は、ApplicationHA Console のインストールを修復する必要があります。

ApplicationHA Console またはゲストのインストールを修復しても、アプリケーション設定には影響しません。つまり、コンソールやゲストのインストールを修復しても、アプリケーションを再設定する必要はありません。

メモ: ApplicationHA Console のアプリケーション監視を設定した場合は、インストールを修復する前に設定解除する必要があります。インストールの修復が完了したら、アプリケーション監視のために設定し直す必要があります。

vSphere Client 統合メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールすると「Failed to log-on...」エラーが表示されて失敗する場合があります

ApplicationHA ゲストコンポーネントを vCenter 統合メニューを使ってインストールしているとき、インストールワークフローは正常に完了します。ただし、タスクがインストールのためにキューに格納された後で一部の仮想マシンで「Failed to log-on」エラーが表示されてインストールが失敗する場合があります。(2361891)

また、vSphere Client を使ってこれらの仮想マシンに接続しようとするとき「MKS error...」が表示される場合があります。

回避策

- 次の場所にある VMware KB を参照します。

http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=749640

- インストールが失敗した仮想マシンを再起動します。
- 問題が解消されない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせます。

vMotion が原因で健全性ビューとダッシュボード更新で遅延が発生する

VMware vMotion が有効になっている仮想マシンでアプリケーション監視を設定した場合、アプリケーションで障害が発生し、仮想マシンが再ブートすると vMotion 処理がトリガされます。(2363462)

vMotion により、再ブート後、仮想マシンが起動し、アプリケーションは新しい ESX ホストのフェールオーバー仮想マシンでオンラインになります。アプリケーションがオンラインであっても、ApplicationHA の健全性ビューとダッシュボードはわずかに遅れてアプリケーション状態を反映します。

アプリケーションにエラーが発生している場合でも vMotion アプリケーションハートビートの状態が「appStatusGreen」と表示される

アプリケーションにエラーが発生した後に VM 再ブートの代わりに VMware vMotion をトリガすると、アプリケーションにエラーが発生しているにもかかわらず仮想マシンの[タスクとイベント(Tasks and Events)]に「appStatusGreen」のアプリケーション状態が反映されます。(2363487)

この問題は、VMware vSphere 4.0 と 4.1 の使用時に発生します。

テストリカバリ中に両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードに更新が表示される

テストリカバリの VMware クラスタネットワーク設定により、フェールオーバーした仮想マシンが保護されたサイト Symantec High Availability コンソールと通信できる場合 (MAC アドレスが保護されたサイトの MAC アドレスと同一であるため)、アプリケーション監視に対して実行した管理タスクにより生じた更新が両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードに反映されます。(2363496)

ゲストインストールがエラー「Failed to launch the guest installer process」により失敗する

この問題は、vSphere Client メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールするときに確認されます。

インストールワークフローが完了した後、仮想マシンはインストールのためにキューに格納されます。ただし、vSphere Client タスクで「Failed to launch the guest installer process」エラーが表示されてインストール処理を開始できない場合があります。

回避策

インストールが失敗した仮想マシンで、インストールウィザードを再び実行します。

[Symantec High Availability] タブを複数回更新するとネットワーク接続エラーが表示される

この問題は通常は IE7 ブラウザで発生します。

[Symantec High Availability] タブは、60 秒ごとにアプリケーション状態を更新します。ただし、ApplicationHA ビューを手動で複数回更新した場合にネットワークエラーが発生した場合は、IE にネットワーク接続エラーが表示されます。(2379946、2379707)

エラーメッセージで [OK] をクリックし、vSphere Client で別の仮想マシンをクリックすると、[Symantec High Availability] タブには、不明なアプリケーションのアプリケーション状態が表示されます。

この問題は、[Symantec High Availability] タブを更新し、同時に仮想マシンをリセットした場合も発生します。

回避策

詳しくは、Microsoft 社からの次のサポート技術情報の記事を参照してください。

http://support.microsoft.com/kb/927917#more_information

ストレージが切断されている場合でも ApplicationHA ビューにマウントポイントの状態が緑色で表示される

この問題はアプリケーション監視の設定に共有ストレージに存在するマウントポイントが含まれる場合に起きることがあります。共有ストレージと仮想マシン ESX ホストの間のネットワークが切断されている場合でも ApplicationHA ビューにマウントポイントの状態がマウント済みでアクセス可能として表示されます。

vSphere Client の [Tasks And Event] タブの [Events] ビューに、ストレージの切断を確認する以下のメッセージが表示されることがあります。

```
Lost access to volume <vol> (SharedDataStore) due to connectivity issue.
```

```
Recovery attempt is in progress and outcome will be reported shortly.
```

設定されたマウントポイントを監視する ApplicationHA MountMonitor エージェントはストレージの非可用性を検出できません。

ストレージが接続されると、アプリケーション監視は通常に戻ります。

フォルダのマウントパスにアンパサンド(&)が含まれている場合、設定ウィザードが失敗することがある

この問題は、Symantec ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視を設定するときに発生します。パスにアンパサンド(&)文字が含まれるフォルダのマウントを選択すると、アプリケーション監視設定タスクの実行中にウィザードは失敗することがあります。(2132797)

ウィザードの [Implementation] パネルに次のエラーが表示されます。

```
Invalid name in entity.[Ln: #, Col: #]
```

回避策

Symantec ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視を設定する場合、フォルダのマウントパスにアンパサンド(&)文字を使わないでください。

この文字を使う必要がある場合は、コマンドラインから VCS コマンドを使って MountMonitor エージェントのリソースを設定します。

FileShare エージェントが共有上で権限を拒否されたユーザーを監視しない

この問題は、Symantec ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視のためのファイル共有を設定した後で発生します。ユーザーが設定された共有に

対して 1 つ以上の権限を拒否された場合、FileShare エージェントはこのようなユーザーを監視しません。ただし、ウィザードは共有を正常に監視します。(2321053)

回避策

この問題の回避策はありません。

FileShare エージェントが CD-ROM および DVD-ROM ドライブ共有をサポートしない

この問題は、Symantec ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視のためのファイル共有を設定するときに発生します。CD-ROM または DVD-ROM ドライブ共有の監視を設定する場合、ウィザードは監視のためのこのような共有を設定できません。(2311779)

回避策

この問題の回避策はありません。

ApplicationHA Configuration Wizard がメールボックスデータベースの名前で特定の特殊文字と記号をサポートしない

この問題は ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視のための Exchange 2007 メールボックスデータベースを設定しているときに発生します。データベース名のいずれかに以下に示す以外の特殊文字をまたは記号が含まれる場合、ウィザードは監視のためのデータベースを設定できません。ウィザードはすべての英数字と次の特殊文字および記号をサポートします:(2281068)

~	波形符	*	アスタリスク	}	終了の波カッコ
!	感嘆符	(開始カッコ		パイプ、縦線
@	アットマーク)	終了カッコ	:	コロン
#	シャープ記号	_	下線文字	?	疑問符
\$	ドル記号	+	プラス記号	[開始の角カッコ
%	パーセント	-	マイナス記号]	終了の角カッコ
&	アンパサンド	{	開始の波カッコ	.	ピリオド、終止符

回避策

この問題の回避策はありません。

ApplicationHA Configuration Wizard が多数のファイル共有のための監視を設定できない

この問題は ApplicationHA Configuration Wizard を使ってアプリケーション監視のための多数のファイル共有を設定しているときに発生します。ウィザードは [ApplicationHA Configuration] パネルで [Configure application monitoring] タスクを実行しているときに共有を設定できません。(2321442)

回避策

この回避策は、ApplicationHA Configuration Wizard が共有を設定できなかった場合にのみ使ってください。

ゲストコンピュータの CLI を使って、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
%ProgramFiles%\Veritas\VRTSsfmh\bin\xprtlc.exe -l "https://localhost:5634/vcs/admin/createAppMonHBSG.pl?&ID=CustomApplication&params=<Cmd><ID>CreateVMWHBSG</ID><ServiceGroups><Name>FileShare_SG</Name></ServiceGroups></Cmd>" ;
```

MountMonitor リソースがアプリケーションインストールパスに対して作成されない

この問題は次の場合に発生します。

- サポート対象のサードパーティアプリケーション (Microsoft Exchange Server 2007、SQL Server 2008 など) がローカルドライブ以外のドライブにインストールされている。
- アプリケーションの監視が ApplicationHA Configuration Wizard を使って設定されている。
- アプリケーションのインストールパスがアクセス不能になっている。

このような場合、MountMonitor リソースはアプリケーションのインストールパスに対して作成されません。(2325795)

回避策

アプリケーションのインストールパスに対して手動で MountMonitor リソースを作成する必要があります。

ApplicationHA agent for SharePoint Server 2010 でのメモリアリーク

メモリアリークは ApplicationHA agent for SharePoint Server 2010 で発生します。この問題は IIS 7.0 を使っている場合に発生します。IIS 7.0 用の Windows Management Instrumentation (WMI) プロバイダがメモリをリークするためです。(2210349)

次のいずれかに類似したエラーメッセージが表示される場合があります。

provider not found

または

provider initialization fail

回避策

IIS 7.0 を削除し、代わりに IIS 6.0 を使います。

データベース名に二重引用符が含まれる場合、ApplicationHA Configuration Wizard が SQL インスタンスを検出できない

この問題は、SQL Server 2008 または 2008 R2 のアプリケーション監視を設定しているときにインスタンスのデータベース名に二重引用符が含まれていると発生します。このような場合、SQL Server はデータベースだけでなく、インスタンスも検出できません。

(2208925)

回避策

データベース名から二重引用符を削除するか、CLI を使って SQL Server 2008 または 2008 R2 のアプリケーション監視を設定します。

基になる SQL Server で障害が発生した場合でも SharePoint Server 2010 アプリケーションおよびサービスがオンラインのままである

SharePoint Server 2010 の ApplicationHA エージェントは、SharePoint Server アプリケーションおよびサービスの監視サポートを提供します。このエージェントは基になる SQL Server データベースの監視サポートを提供しません。

このため、SQL Server で障害が発生した場合でも、SharePoint Server アプリケーションおよびサービスはオンラインのままです。(2212860)

SharePoint Server 2010 アプリケーションおよびサービスが Farm User クレデンシャルが変更された場合でもオンラインのままである

SharePoint Server アプリケーションおよびサービスを設定した後で FarmAdminAccount および FarmAdminPassword 属性の値を変更した場合、設定されたアプリケーションおよびサービスは引き続きオンラインのままです。

変更されたクレデンシャルを反映する場合は、アプリケーションおよびサービスの設定を解除し、再設定する必要があります。(2212853)

ApplicationHA を使って IIS サイトを監視するときに WMI でメモリリークが発生する

Windows Server 2008 オペレーティングシステムで、ApplicationHA を使って IIS でホストされるサイトを監視するときに Windows Management Instrumentation (WMI) でメモリリークが発生します。この問題は IIS 7.0 WMI プロバイダが IIS サーバーにインストールされている場合に発生します。(2077342)

回避策: これは既知の Microsoft 社の問題です。この問題を解決するには、以下を実行します。

- IIS 6.0 WMI プロバイダのみが IIS サーバーにインストールされていることを確認します。
- [Web Server (IIS)] 役割の下で、[IIS 6 WMI Compatibility] 役割サービスがインストールされていて、[IIS Management Scripts and Tools] がインストールされていないことを確認します。

6.1 でのソフトウェアの修正点と拡張機能

ここでは、ApplicationHA 6.0 リリースで修正された ApplicationHA for Windows のインシデントの情報を説明します。

インシデント番号 説明

- | | |
|---------|--|
| 2385156 | <p>仮想マシンとコンソールホスト間のシングルサインオン (SSO) の設定には、仮想マシンの管理者アカウントを指定して、仮想マシン用のシングルサインオンを設定することが伴います。この設定は、管理者アカウントのクレデンシャルに次の特殊文字が含まれていると失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ & (アンド記号)■ * (アスタリスク)■ % (パーセント記号)■ + (プラス記号) <p>vSphere Client の [Symantec High Availability] タブから仮想マシンにログオンしようとする、構文エラーのダイアログボックスが表示されます。</p> |
| 2376384 | <p>ApplicationHA のゲストコンポーネントがインストールされ、Symantec High Availability コンソールでシングルサインオンが設定されている場合に、VOM Management Server を仮想マシンにインストールできないことがあります。</p> |
| 3370571 | <p>システム上で監視されるすべてのアプリケーションは、いずれかのアプリケーションがエラーになるとオフラインになります。</p> |